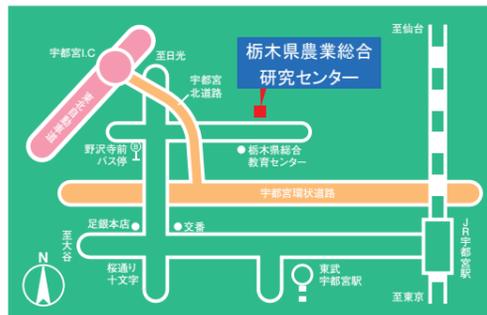


沿革

1895年(明治28年)	宇都宮市宿郷に「栃木県立農事試験場」として発足	1994年(平成6年)	高根沢町に高根沢農場を開設
1906年(明治39年)	宇都宮市今泉に移転	2000年(平成12年)	蚕業センターを統合して南河内分場と改称
1927年(昭和2年)	堀米町(現在の佐野市)に堀米原種圃を開設	2003年(平成15年)	南河内分場を閉鎖(14年度)
1941年(昭和16年)	麻類試験地を南押原村(現在の鹿沼市)に開設	2008年(平成20年)	いちご研究所を設立・黒磯農場に改称
1943年(昭和18年)	黒磯町(現在の那須塩原市)に寒冷地試験場を開設	2011年(平成23年)	栃木分場を閉鎖 佐野農場を閉鎖し栃木に移転、栃木農場とする 本館を新築
1950年(昭和25年)	「栃木県農業試験場」に改称	2012年(平成24年)	研究統括監を設置、本場研究部門を研究開発部とする
1954年(昭和29年)	薬師寺村(現在の下野市)に薬師寺分場(後の南河内分場)を開設	2024年(令和6年)	「栃木県農業総合研究センター」に改組 環境技術指導部を新設
1969年(昭和44年)	本場を現在地に移転		
1974年(昭和49年)	南河内分場を栃木市に移転し栃木分場とする		
1986年(昭和61年)	本場に環境保全部、生物工学部を新設		

所在地・アクセス

■農業総合研究センターへのアクセス



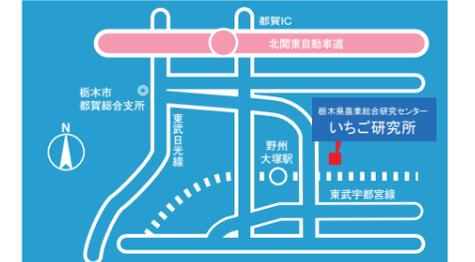
○JR宇都宮駅から関東バス利用
JR宇都宮線 東北新幹線 宇都宮駅 野沢寺前 農業総合研究センター
バス 徒歩

※西口8番線乗り場から日光東照宮、今市車庫、船生、山王団地、石那田行

○東北自動車道利用(約10分)
宇都宮IC 宇都宮北道路 農業総合研究センター

※宇都宮ICから宇都宮北道路を通り、「岡本方面出口」下車、東進すく

■いちご研究所へのアクセス



○東武宇都宮線野州大塚駅下車徒歩10分
○北関東自動車道都賀ICより車で10分

農業総合研究センター
〒320-0002 宇都宮市瓦谷町1080
☎028-665-1241 028-665-1759

○気象(宇都宮市)
年平均気温/14.3℃
日最低平均気温(1月)/-2.2℃
日最高平均気温(8月)/30.8℃
年間降水量/1525mm
年間日照時間/1961時間
○標高/150~170m

原種農場 黒磯農場
〒325-0033 那須塩原市埼玉9-5
☎0287-62-0209 0287-62-0204

○気象(宇都宮市)
年平均気温/12.1℃
日最低平均気温(1月)/-3.9℃
日最高平均気温(8月)/28.6℃
年間降水量/1553mm
年間日照時間/1822時間
○標高/345m

いちご研究所
原種農場 栃木農場
〒328-0007 栃木市大塚町2920
☎0282-27-2715 0282-27-8462

○気象(栃木市)
年間降水量/1400mm
○標高/58m

原種農場 高根沢農場
〒329-1224 高根沢町上高根沢5904
☎028-675-5585 028-675-5966

○気象(高根沢町)
年間降水量/1448mm
○標高/149m

栃木県農業総合研究センター

Tochigi Prefectural Agricultural Research Center



栃木の農業の持続的発展を技術と品種でサポート！！



業務内容



研究開発部

ブランド力を高める新品種・新技術のほか、気候変動への対応や担い手の確保などの社会情勢の変化に適応した持続的な生産技術の開発に取り組んでいます。

水稲研究室

水稲の品種改良及び稲・大豆等の栽培法に関する研究をしています。



水稲の新品種育成



水稲の生育診断調査

麦類研究室

二条大麦の品種改良及び麦類の栽培法に関する研究をしています。



試験専用播種機による麦播種



製麦中のビール麦

花き研究室

花きの品種改良及び栽培法に関する研究をしています。



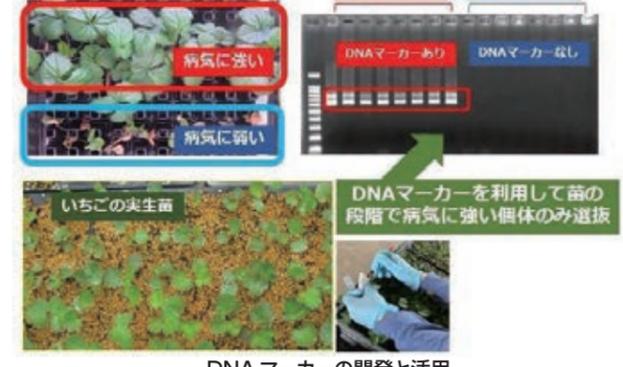
あじさい育成品種



トルコギキョウの高温対策試験

生物工学的研究室

ゲノム情報を活用した品種改良、DNA 鑑定による品種識別法に関する研究をしています。



DNA マーカーの開発と活用

野菜研究室

野菜の品種改良及び栽培法に関する研究をしています。



にらの新品種育成



トマト次世代型養液栽培施設における栽培試験

果樹研究室

果樹の品種改良及び栽培法に関する研究をしています。



根圏制御栽培



なしの交配

病理昆虫研究室

農作物を病害虫の被害から守るため、病害虫の発生生態の解明、検出・診断技術及び防除技術の開発に関する研究をしています。



イチゴ萎黄病に罹病したいちご(クラウンの断面)



クビアカツヤカミキリ成虫(もも等を加害する特定外来生物)

土壌環境研究室

土壌診断技術や作物ごとの施肥法を開発するとともに、カーボンニュートラルや化学肥料削減に関する研究をしています。



もみ殻くん炭による土壌への炭素の貯留試験



土壌断面調査

環境技術指導部

農作物等の安定生産のため、肥料、飼料、農薬の販売届、肥料、飼料の品質等の確保及び病害虫発生予察情報の提供に関する業務を行っています。

検査指導課

肥料・飼料・農薬等の各種届出、立入検査等に関する業務を行っています。



飼料業者への立入検査



農薬販売業者への立入検査

防除課

農作物に発生する病害虫の発生状況調査と発生予測に基づく予察情報等の提供を行っています。



いちごの病害虫の発生調査



青色粘着紙を用いた害虫誘殺数調査

いちご研究所 (栃木市)

全国唯一のいちご専門研究機関として、品種改良及び栽培法に関する研究に加え、経営・流通・消費に関する調査分析や研修情報発信、交流を行っています。



いちごの生育調査



子供向けの体験講座(食味試験)

原種農場 (高根沢農場、栃木農場、黒磯農場)

稲・麦・大豆の奨励品種の原種を生産しています。



稲原種立毛検討会による目合わせ



原種品質調査